

## 冷水の上手な注水方法とシーズンオフ時の長期保存方法

### A 注水クールベスト（品番；2CL-WA1）への冷水の注水方法

A-1	500mlのペットボトルの冷水を用意し、注水ベストの前片側に500mlの四分の1の水を入れます。	<p>前片側、交互に注水、その後背中部に注水します。</p> 
A-2	同じく、別の前片側に500mlの四分の1の水を入れます。（左右前側に合わせて250mlを注水）	
A-3	残りの500mlの二分の1の水を、背中の方に入れます。	
A-4	注水ベストの前の両側、背中側の全面に、水が均等に行きわたる様に、手で表面をならします。	
A-5	吸汗性の良い綿生地等の半袖下着、または、ポロシャツ等の上に着用します。ヒンヤリ感が味わえます。	

### B ヒンヤリ感がなくなり、冷水を追加するときの方法

B-1	注水後、使用中に水がベストの下の方にたまっている場合があります、一度、ベストを脱いで、逆さまにし、水をベストの肩の方へ戻して再度着用ください。ヒンヤリ感がもどる場合があります。それでも、ヒンヤリ効果が悪くなり、冷水を再注入や追加する場合は、注水ベストを脱いで、注水栓を外し、注水ベストを逆さまにして、余分な水を注水栓から先に排出します。	<p>注水栓から水を排出</p> 
B-2	新しい冷えた水を500ml用意し、A-1からの手順を繰り返し、新しい冷水を注水ベストに入れます。	<p><b>注水時のご注意；</b> 冷蔵庫の水が入手できないときは、できるだけ冷たい水道水をお使いください、決して炭酸飲料、お茶等はいれしないでください、カビの原因となります。</p>
B-3	A-4とA-5と同じことを行います。	

### C 注水ベストのお手入れ（洗い）と保存

C-1	注水栓を開け、注水ベストを逆さまにして、中の水を完全に排出します。	<p>2昼夜ほど日陰で乾燥させる</p> 
C-2	その後、注水栓を閉め、汗等で汚れた注水ベストの裏、表生地を中性洗剤で拭き洗いや水洗いを行い、注水栓を開けて、日陰で干します。 内部の吸水材の水分が、注水ベストの生地（通気性のある防水布）を通して、完全乾燥するには2昼夜程度の乾燥時間が必要です。 乾燥不十分ですとカビの発生原因になることがあります。	
C-3	上記で十分乾燥させてから、タンス等での長期保存をしてください。	